

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	PR物品売払事業			
担当部署・課長名	秘書広報	課	広報	係 課長名 五十嵐 孝雄

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行 - 3	-
【施策名】 市民自治の向上	総合計画書 (ページ)	127	

予算名	款	総務費	項	総務管理費	目	広報費	事業	広報活動費
-----	---	-----	---	-------	---	-----	----	-------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) →人口(平成30年4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市への愛着を深める。また、PR物品を見た方が東大和市に関心をもつ。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 累積の販売部数 →①歴史冊子「今はむかし大和村」 ②絵入り名刺(8種)
	③ そのために何をしましたか。 下記の物品を販売した。 ①歴史冊子「今はむかし大和村」 ②絵入り名刺(8種)	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) →当該年度の販売部数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	世帯	38,104	38,405	38,705		
	成果指標	②の数値	部・冊	①400 ②2,499	①402 ②2,688	①418 ②2,837		
	目 標	②の目標値	部・冊			①420 ②3,000	①430 ②3,200	①440 ②3,400
		目標値設定の考え方	現状を維持する					
活動指標	③の数値		①1 ②223	①2 ②189	①18 ②149			

3 経費	事業費(実績)		円	51,678	0	223,560	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	51,678	0	223,560	
		特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	826,700	825,300	824,400		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	878,378	825,300	1,047,960		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 「今はむかし大和村」は昭和60年から、多摩湖の絵入り名刺は昭和63年から販売を開始している。市民に市への愛着をより深めてもらうため、また、市のPRやイメージアップを目的に物品を販売している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 「今はむかし大和村」に関しては、開始当初と比較して販売量が大きく減少している。

仕 事 の 内 容	PR物品売払事業				
担当部署・課長名	秘書広報	課	広報	係	課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
6 市民協働	取り組んだ	取組手法	⑧		
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：）⑦後援・場の提供 ⑧その他（PR物品の販売で、市民に市への愛着をより深めてもらう）		
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 PR物品の販売により、市民に市への愛着をより深めてもらうことができ、それが様々な場面における市民協働につなげることが出来る。					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容  PR物品の「今はむかし大和村」「絵入り名刺（名刺サイズ）」の販売促進が課題である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。  平成30年4月に開催した「うまかんべえ～祭」及び平成30年8月に開催した「平和市民のつどい」において、PR物品の販売場所を旧日立航空機株式会社変電所内としたところ、「今はむかし大和村」については販売数が増加した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題  販売数は増加したが、市のイメージアップに向け、より一層のPR物品の販売促進が必要である。				
	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 販売数の増加を見込める販売場所、方法を検討する。				
8 今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 販売を行う際の人員配置、設置場所の関係者から理解を得ることが必要となる。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
	成果	成果を向上させる。			経費